

mitoco Buddy

mitoco Buddy 2026.05.19
リリースノート

リリース日:2026年5月19日



目次

はじめに	3
1 リリース内容	4
1.1 新たな MCP 連携先の追加	4
1.2 マイドライブの MCP 追加.....	6
1.3 MCP Apps 機能改良	7
1.4 マイエージェント	10
1.5 エージェントチャットのクレジット使用量表示	12
1.6 SharePoint MCP 機能改良	13
1.6.1 大容量 Office ファイルの読み込み速度改善	13
1.7 Box フォルダ 自動化トリガーのサポート	13
1.8 [管理者]データ漏洩防止(DLP)ログおよび監査ログのダウンロード機能追加	16
1.9 [管理者]クレジット使用量の上限設定機能の追加	17
1.10 [管理者]クレジット利用履歴のソースを表示	18
1.11 [管理者]ユーザー招待時のタグ付与に対応	19
1.12 [管理者]ユーザーの無効化機能の追加	20
1.13 [管理者]タグ別のクレジット使用量分析に対応.....	21
1.14 [管理者]チャット履歴の保存期間設定機能の追加	21
1.15 [管理者]GitHub URL ベースのスキルインポート	22
1.16 UI/UX 改善	23
2 お問い合わせ先	27
3 免責事項	27

はじめに

本リリースノートでは、mitoco Buddy の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト：<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

※本リリースよりヘルプサイトを変更しました。

■ 概要

2026.05.19 アップデートでは、以下の機能を強化または追加しています。詳細については、ハイパーリンクをクリックしてください。

- ・ [新たな MCP 連携先の追加](#)
- ・ [マイドライブの MCP 追加](#)
- ・ [MCP Apps 機能改良](#)
- ・ [マイエージェント](#)
- ・ [エージェントチャットのクレジット使用量表示](#)
- ・ [SharePoint MCP 機能改良](#)
- ・ [Box フォルダ 自動化トリガーのサポート](#)
- ・ [\[管理者\]データ漏洩防止\(DLP\)ログおよび監査ログのダウンロード機能追加](#)
- ・ [\[管理者\]クレジット使用量の上限設定機能の追加](#)
- ・ [\[管理者\]クレジット利用履歴のソースを表示](#)
- ・ [\[管理者\]ユーザー招待時のタグ付与に対応](#)
- ・ [\[管理者\]ユーザーの無効化機能の追加](#)
- ・ [\[管理者\]タグ別のクレジット使用量分析に対応](#)
- ・ [\[管理者\]チャット履歴の保存期間設定機能の追加](#)
- ・ [\[管理者\]GitHub URL ベースのスキルインポート](#)
- ・ [UI/UX 改善](#)

1 リリース内容

1.1 新たな MCP 連携先の追加

いつもの業務アプリが mitoco Buddy とつながり、エージェントから直接操作できるようになります。以下の Microsoft Fabric MCP との連携に対応しました。

■ Fabric

ワークスペース、アイテム、接続、ジョブ、SQL、ショートカットを包括的に管理します。

■ Fabric Engineering

Fabric の Lakehouse、Warehouse、Notebook、Pipeline、Spark Job、Environment の作成および管理をサポートします。

■ Fabric OneLake

Fabric OneLake ストレージ内のファイル管理およびショートカットの作成・管理に特化した機能を提供します。

■ Fabric BI

Fabric での DAX クエリ実行、セマンティックモデルの更新、レポートのエクスポートなど、ビジネスインテリジェンス業務を自動化します。

■ Fabric RTI(Real-Time Intelligence)

Fabric Eventhouse データベースに対して KQL クエリの実行や管理コマンドの操作を可能にします。

■ Fabric Integration

Fabric ミラーリングデータベースのミラーリング制御や、データ統合プロセスの管理を行います。

■ Fabric DevOps

Fabric の Git 連携、デプロイメントパイプライン、アイテム定義の一括管理など、開発サイクルを効率化します。

■ Fabric Admin

Fabric テナントのワークスペース、ドメイン、設定、ラベル、データ共有管理など、管理者向けの制御機能を提供します。









[+ カスタムMCP](#)

MCP

[すべての連携](#) [インストール済み連携](#)

Microsoft Services

Microsoft Services

-  **Fabric**
Microsoft Fabricと連携してワークスペース、アイテム、接続、ジョブ、SQL、ショートカット管理
-  **Fabric Engineering**
FabricのLakehouse、Warehouse、Notebook、Pipeline、Spark Job、Environment管理
-  **Fabric OneLake**
Fabric OneLakeストレージのファイルとショートカット管理
-  **Fabric BI**
FabricでDAXクエリ実行、セマンティックモデル更新、レポートエクスポート
-  **Fabric RTI**
Fabric EventhouseデータベースでKQLクエリと管理コマンドを実行
-  **Fabric Integration**
Fabricミラーリングデータベースのミラーリング制御
-  **Fabric DevOps**
FabricのGit連携、デプロイメントパイプライン、アイテム定義一括管理
-  **Fabric Admin**
Fabricテナントのワークスペース、ドメイン、設定、ラベル、データ共有管理

1.2 マイドライブのMCP追加

チャットの画面から、直接マイドライブ内のファイルにアクセスできるようになります。

これまではファイルをダウンロードして添付する手間が必要でしたが、今後はチャット画面から直接マイドライブ内のファイルを参照・活用できるようになります。

- ・ **チャットでの利用:** この機能は標準で組み込まれているため、設定不要で利用できます。
- ・ **エージェントでの利用:** エージェントでマイドライブのファイルを使用する場合は、マイドライブを追加することで利用できます。



マイドライブ内のファイルにアクセス可能となります。



1.3 MCP Apps 機能改良

前回リリースで対応した「MCP Apps」が機能改良されました。

① 補足

- MCP Apps とは MCP サーバーが UI を表示する接続規格です。これにより、接続する外部ツール(MCP サーバー)側がこの規格に対応していれば、mitoco Buddy のチャット内に「専用の操作画面(UI)」を直接表示できるようになります。

■ MCP Apps Display Mode サポート

外部アプリケーション(MCP Apps)の表示形式を、用途に合わせて 3 種類から切り替えられるようになりました。

何ができるようになるのか:

これまでは「inline(画面内への埋め込み)」表示のみでしたが、新たに「fullscreen(全画面)」と「pip(ピクチャー・イン・ピクチャー)」での表示が可能になります。

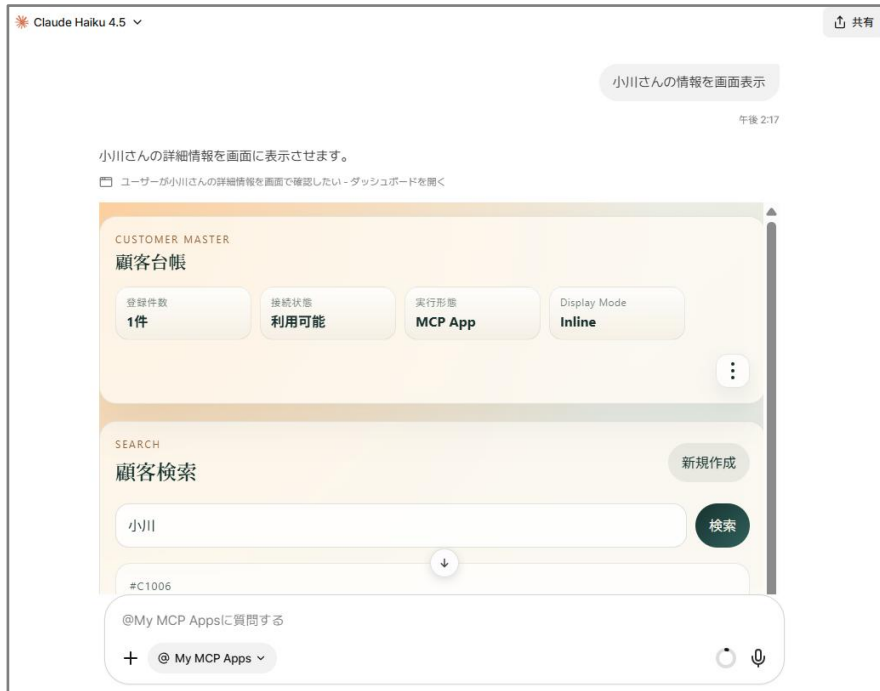
- **inline:** これまで通り、チャットのやり取りの中にアプリが組み込まれて表示されます。
- **fullscreen:** アプリを画面いっぱいに広げて表示します。図表の編集や複雑な操作に最適です。
- **pip:** アプリを独立した小さなウィンドウとして、画面上の好きな位置に浮かせて表示します。

メリット:

作業の内容に応じて、最適な画面レイアウトを選択できるようになります。

例えば、チャットで指示を出しながら pip でアプリの動きを常にチェックしたり、集中して作業したいときは fullscreen に切り替えたりと、マルチタスクがよりスムーズに行えるようになります。

inline 表示例:チャットの会話内に UI を表示



fullscreen 表示例:全画面で UI を表示



pip 表示例: チャット画面内のポップアップウィンドウで UI を表示



■ エージェントでの MCP Apps サポート

エージェントにおいても、MCP Apps が利用可能になりました。

「プリセット」でのチャットに加え、エージェントでも MCP Apps に対応した MCP を登録・活用できるようになります。エージェントに登録した MCP Apps のインターフェースを直接呼び出し、視覚的に操作できます。特定の業務に特化した MCP をエージェントに登録することで、その分野の作業をより効率化できます。

利用方法:

エージェントの設定画面から、MCP Apps 対応の MCP サーバーを登録することで、チャット中に必要に応じて MCP Apps の UI が起動し利用可能な状態になります。

1.4 マイエージェント

ユーザー個人エージェントを作成できるマイエージェント機能が追加されました。

何ができるようになるのか:

管理者だけでなく、ユーザーの皆様が自分専用のエージェント(マイエージェント)を作成できるようになります。

これまで「プリセット」として作成していた自分専用の設定は、今後は「マイエージェント」として、より簡単に作成・管理できるようになります。既存のプリセットがある場合は、「Preset からインポート」ボタンから簡単にマイエージェントへ移行することが可能です。(今後「プリセット」の使用は非推奨となる予定です)

メリット:

「使い勝手の向上と統一」

これまで「エージェント」と「プリセット」で分かれていた操作手順が一つに統合されます。すべての機能を「エージェント」として同じ操作感で利用できるため、迷わずスムーズに作業が行えます。

「自分専用のカスタマイズが自由に」

管理者に依頼することなく、自分の業務スタイルに合わせた専用エージェントを即座に作成し、日々のタスクを効率化できます。

「自分だけの「自動化」がより自由に」

「特定のメールが届いたら返信案を作る」「毎週月曜にレポートをまとめる」といったオートメーションの設定に、自分で作成したマイエージェントを組み込みます。自分の業務に特化した指示(プロンプト)を持つエージェントを自動実行させることで、ルーチンワークのさらなる効率化が実現します。

「安心のセキュリティ」

マイエージェントは組織の DLP(データ漏洩防止)設定を自動的に継承します。個人で複雑なセキュリティ設定を行う必要がなく、組織のルールを守りながら安全にご利用いただけます。

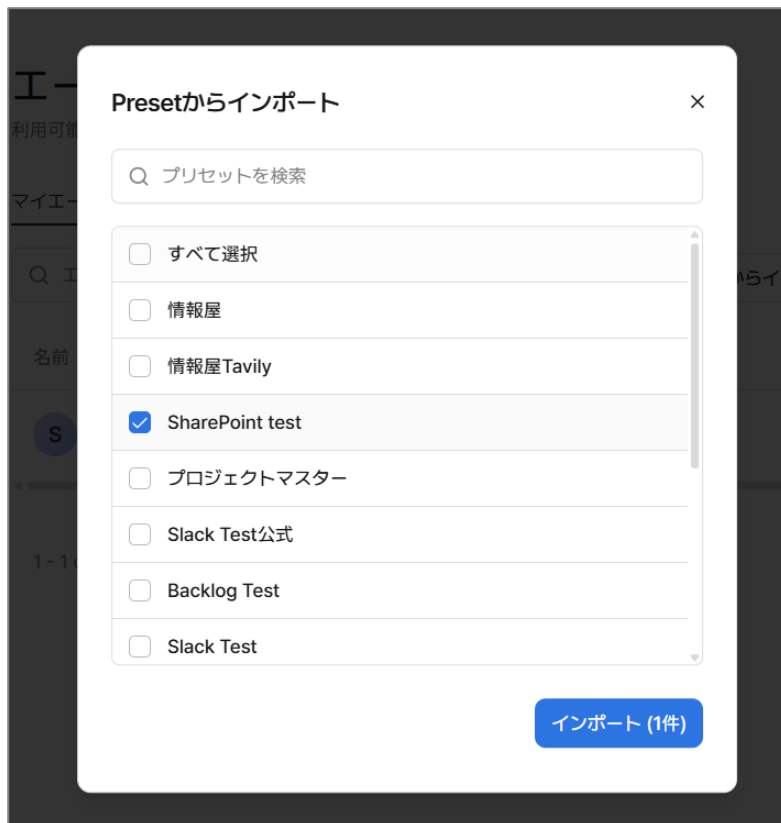
① 補足

- エージェントで利用可能なナレッジバンドルは、組織エージェントのみでの対応になります。

ユーザーのエージェント画面:



Preset からのインポート:



1.5 エージェントチャットのクレジット使用量表示

エージェントとのチャットでも会話ごとのクレジット使用量が表示されるようになりました。

何ができるようになるのか:

エージェントとのチャットにおいて、1 回ごとの応答に使用されたクレジット消費量が表示されるようになります。

これまでは「プリセット」を使用した会話でのみ使用量が表示され、エージェント(マイエージェント・組織エージェント)との会話では表示を確認することができませんでした。今回のアップデートにより、すべてのエージェントとのやり取りにおいて、その都度どれくらいのクレジットが使われたかをリアルタイムに把握できるようになります。

メリット:

自分がどの程度クレジットを消費しているかが一目でわかるようになります。これにより、残りのクレジット数を意識しながら、より計画的にエージェントを活用することが可能です。



The screenshot shows the mitoco chat interface. On the left is a sidebar with navigation options like '新規チャット', 'エージェント', 'プリセット', etc. The main chat area displays a message from the Salesforce agent: '最も金額の高い案件は以下の通りです：'. Below this is a table with case details.

項目	内容
案件名	北星製造_品質トレーサビリティ強化
金額	¥24,000,000
ステージ	Needs Analysis (ニーズ分析)
クローズ予定日	2026年7月15日

Below the table, a message states: 'この案件は現在「ニーズ分析」段階にあり、2番目に金額の高い「青葉市役所_住民問い合わせ効率化」(¥18,000,000) と比べても6百万円上回っています。' followed by a timestamp '午前 11:55 | -3.78 クレジット'.

1.6 SharePoint MCP 機能改良

1.6.1 大容量 Office ファイルの読み込み速度改善

PDF や PowerPoint といった容量の大きいドキュメントの読み込み処理が改善されました。これまで発生していた読み込みの遅延や、処理が途中で中断してしまう事象が解消され、より早く安定してファイルの内容を読み込めるようになります。大容量ドキュメントの「要約機能」などを利用する際も、ストレスなくスムーズにご活用いただけます。

① 補足

- 読み込み可能なファイルサイズは、最大 50MB です。

1.7 Box フォルダ 自動化トリガーのサポート

自動化のトリガーとして、Box 上のフォルダを監視する機能が追加されました。

何ができるようになるのか：

Box 内の特定のフォルダにファイルがアップロードされたことを検知して、連携したエージェントを自動的に起動できるようになります。

設定では以下の機能が利用可能です。

- Box とのスムーズな連携：** OAuth 認証によるログインで、安全かつ簡単にセットアップができます。
- 監視フォルダの指定：** Box 内の特定のフォルダを選んで監視対象に設定できます。
- 柔軟なファイル絞り込み：** すべてのファイルだけでなく、ドキュメント・画像・テキスト・データといった種類別や、特定の「拡張子」を指定してエージェントを動かす対象を制限できます。

The screenshot shows a configuration window for monitoring folders in Box. It has two main sections: '監視するフォルダー *' (Monitor folders) and '監視するファイル' (Monitor files). Under '監視するフォルダー *', there is a dropdown menu with '連携フォルダ' (Linked folder) selected. Under '監視するファイル', there are four buttons: 'すべてのファイル' (All files), 'ドキュメント' (Documents), '画像' (Images), and 'テキスト/データ' (Text/Data). At the bottom, there is a text input field with the placeholder '拡張子を直接追加 (例 : epub, zip)' (Add extensions directly (example: epub, zip)).

メリット:

ファイルがアップロードされるたびに手動でエージェントを操作する手間がなくなります。

例えば「Box に新しい資料が保存されたら、即座に内容を解析して通知する」といった一連の流れを完全に自動化できるため、業務のスピードアップと作業漏れの防止につながります。

オートメーション(自動化)の設定例:



Box へのファイルアップロード(上図)により、エージェントが自動で動作(下図):



チャット履歴:

[共有](#)

新規作成または更新されたファイルのメタ情報を出力

午後 10:34

ファイルのメタ情報を取得するため、Boxからファイルをアップロードします。

- 📎 ファイルのメタ情報を確認するため、Boxからファイルをサンドボックスにアップロードしています
- 📎 ファイルのメタ情報を確認するため、ファイルの詳細情報を取得しています
- 📎 ファイルのメタ情報を確認するため、PDFのヘッダー情報とページ数を取得しています

📄 **ファイルメタ情報**

項目	内容
イベント種別	FILE_UPLOADED (新規アップロード)
ファイル名	`mitoco_Buddy_ReleaseNote_Ver.20260424.pdf`
ファイルID	2227425909264
フォルダID	381491608114
ファイルサイズ	910,170 bytes (約 888.8 K) ↓
ページ数	13ページ

🗨 エージェントと会話してみましょう。

👤 Introspectorエージェント 🔄 自動化 🎤

1.8 [管理者]データ漏洩防止(DLP)ログおよび監査ログのダウンロード機能追加

管理者メニューからデータ漏洩防止(DLP)ログおよび監査ログをファイルとしてダウンロードできるようになり、分析や調査がしやすくなりました。

セキュリティ保護のため、ダウンロードしたファイルはパスワードで保護されます。

データ漏洩防止(DLP)ログ:

タイムスタンプ	ユーザー	アクション	理由	データタイプ	カテゴリ
2026/03/31 11:17:38	[redacted]	機密データが送信されました。	テストなので問題ない	JAPAN_PASSPORT	Government ID
2026/03/31 11:17:25	[redacted]	機密データがブロックされました。	-	JAPAN_PASSPORT	Government ID
2026/03/31 11:15:49	[redacted]	機密データがブロックされました。	-	JAPAN_PASSPORT	Government ID

監査ログ:

時間	ユーザー	タグ	イベント情報
2026/05/12 15:51:37	管理者	部署: エンジニアリング	LLM message received LLM message generated
2026/05/12 15:51:36	管理者	部署: エンジニアリング	LLM tool call success MCP tool call succeeded.
2026/05/12 15:51:36	管理者	部署: エンジニアリング	LLM tool call attempted MCP tool call attempted.
2026/05/12 15:51:35	管理者	部署: エンジニアリング	LLM message sent LLM message sent
2026/05/12 15:51:35	管理者	部署: エンジニアリング	Agent LLM message received Agent LLM message generated
2026/05/12 15:51:30	管理者	部署: エンジニアリング	Agent LLM message sent Agent LLM message sent
2026/05/12 15:51:30	管理者	部署: エンジニアリング	LLM tool call success MCP tool call succeeded.
2026/05/12 15:51:30	管理者	部署: エンジニアリング	LLM tool call attempted

1.9 [管理者]クレジット使用量の上限設定機能の追加

管理者メニューの[クレジット上限]から組織全体、またはユーザーごとに、利用に必要なクレジットの使用量上限を設定できるようになりました。

何ができるようになるのか:

管理者メニューの[クレジット上限]から、組織全体やユーザーごとの上限値を設定できます。上限に達した場合はクレジットの消費が停止されるため、あらかじめ決めた範囲内での運用が可能です。

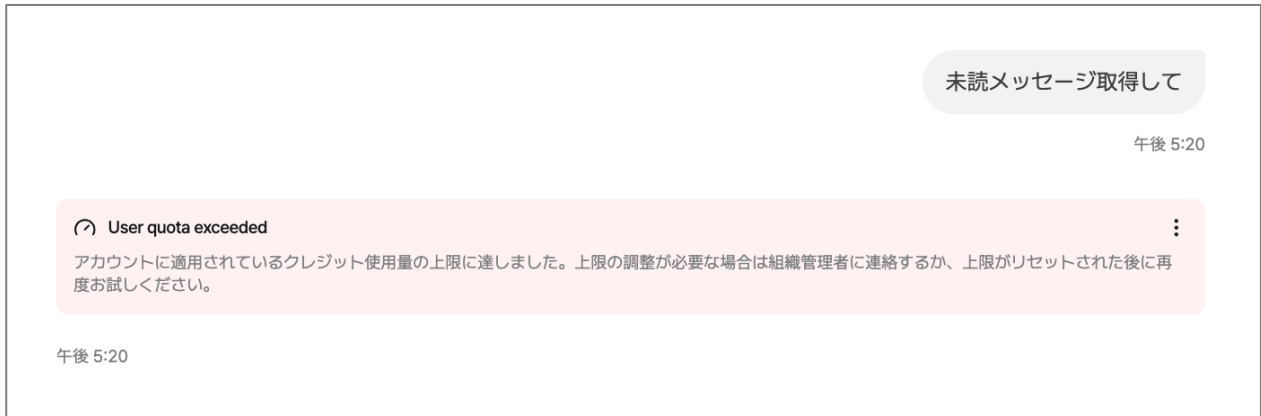
メリット:

クレジットの過剰な消費を自動的に防ぎます。これにより、予算や利用頻度に合わせて、計画的に機能を活用できるようになります。

- **設定できる周期:** 日次、週次、月次から選択できます。
- **設定の優先順位:** 組織とユーザーの両方に上限が設定されている場合は、ユーザー個別の設定が優先されます。



上限に達した場合: クレジットの残量が上限に達したとき、リクエスト(AI への指示など)は実行されず、エラーメッセージが表示されます。



1.10 [管理者]クレジット利用履歴のソースを表示

クレジットの利用履歴画面で、どの機能でクレジットを消費したかのソースが表示されるようになりました。項目ごとに履歴が区分されて記録されます。

クレジットタイプ	除外理由	ソースタイプ	ソース名	ソースID
イベント (有料)	LLM呼び出し	-	-	-
イベント (有料)	Agent LLM呼び出し	個人エージェント	agent	019e1ac2-fec9-7c42-ae0...
イベント (有料)	Agent LLM呼び出し	個人エージェント	agent	019e1ac2-fec9-7c42-ae0...
イベント (有料)	Agent LLM呼び出し	個人エージェント	agent	019e1ac2-fec9-7c42-ae0...
イベント (有料)	LLM呼び出し	通常チャット	New Chat	70f53286-dbd7-4ac2-af3...
イベント (有料)	LLM呼び出し	-	-	-
イベント (有料)	LLM呼び出し	通常チャット	New Chat	70f53286-dbd7-4ac2-af3...
イベント (有料)	Agent LLM呼び出し	組織エージェント	agent	019cace3-3eb1-7a4f-b18...
イベント (有料)	Agent LLM呼び出し	組織エージェント	agent	019cace3-3eb1-7a4f-b18...
イベント (有料)	Agent LLM呼び出し	自動化	Box自動化	019e1c59-e6b9-7d09-8e...

1.11 [管理者]ユーザー招待時のタグ付与に対応

ユーザーを招待する際に、あらかじめタグを設定できるようになりました。

これまでは、招待されたユーザーが初めてログインした後に管理者がタグを付与する必要がありましたが、招待時に設定しておくことで、初回ログイン時からタグによる機能制限を適用できます。これにより、より安全なユーザー管理が可能です。

組織メンバーを招待

組織にメンバーを追加する

メールアドレス

hoge@terrasky.co.jp

Enterを押してメールアドレスを追加してください

役割 (招待されたすべてのユーザーに適用)

メンバー

招待されたすべてのユーザーに選択した役割が付与されます。参加後に個別の役割を変更できます。

ユーザータグ (招待されたすべてのユーザーに適用)

部署: エンジニアリング

選択したタグは、招待されたユーザーが招待を承認したときに付与されます。

招待プロセス

- 招待されたユーザーはメール招待を受け取ります
- 組織に参加するには招待を承諾する必要があります
- ユーザーは招待を無視できます
- 必要に応じて招待を再送信できます

キャンセル 招待を送信

タグ付与

hoge@terrasky.co.jp

メンバー

保留中

部署: エンジニアリング

1.12 [管理者]ユーザーの無効化機能の追加

退職や休職などにより、一時的に利用を停止したいユーザーを無効化できるようになりました。無効化されたユーザーは、組織へのログインができなくなります。

再度利用する場合は、管理者が対象ユーザーのステータスを有効に戻してください。



無効化ユーザーで組織にアクセスすると休眠アカウントとなります。



1.13 [管理者]タグ別のクレジット使用量分析に対応

設定したタグごとに、クレジットの使用量を集計して分析できるようになりました。

たとえば、部署ごとに「開発」「営業」「事務」といったタグを付与することで、各部署の利用状況をグラフなどで確認できます。

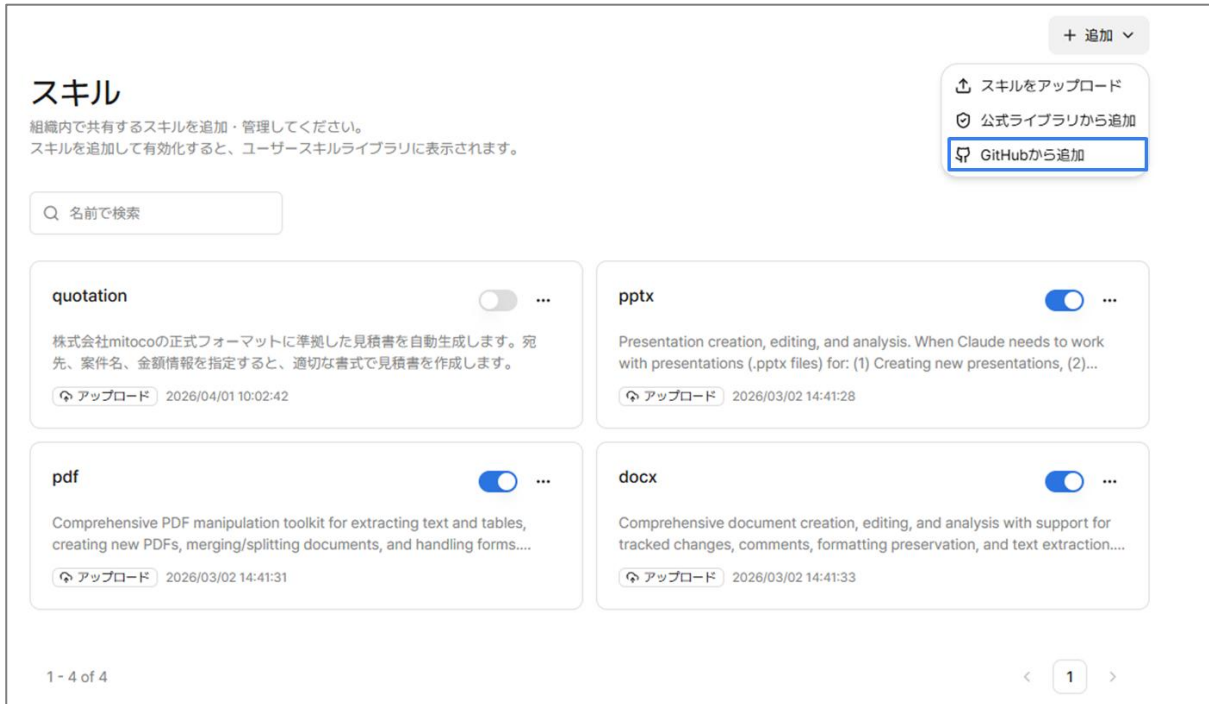
タグ	使用クレジット	割合	ユーザー数	ユーザー別
● 部署: 開発部	189.27	53.92%	1	ユーザー別
● 部署: 経理	75.89	21.62%	1	ユーザー別

1.14 [管理者]チャット履歴の保存期間設定機能の追加

管理者メニュー画面の[セキュリティ]から、チャット履歴の保存期間を設定できます。設定した期間を過ぎたチャット履歴は、自動的に削除されます。

1.15 [管理者]GitHub URL ベースのスキルインポート

管理者メニューからスキルをアップロードする際、GitHub の URL を指定してインポートできるようになりました。これにより、GitHub 上で管理されているファイルを直接取り込んで、新しいスキルとして登録できます。



URL を指定します。



1.16 UI/UX 改善

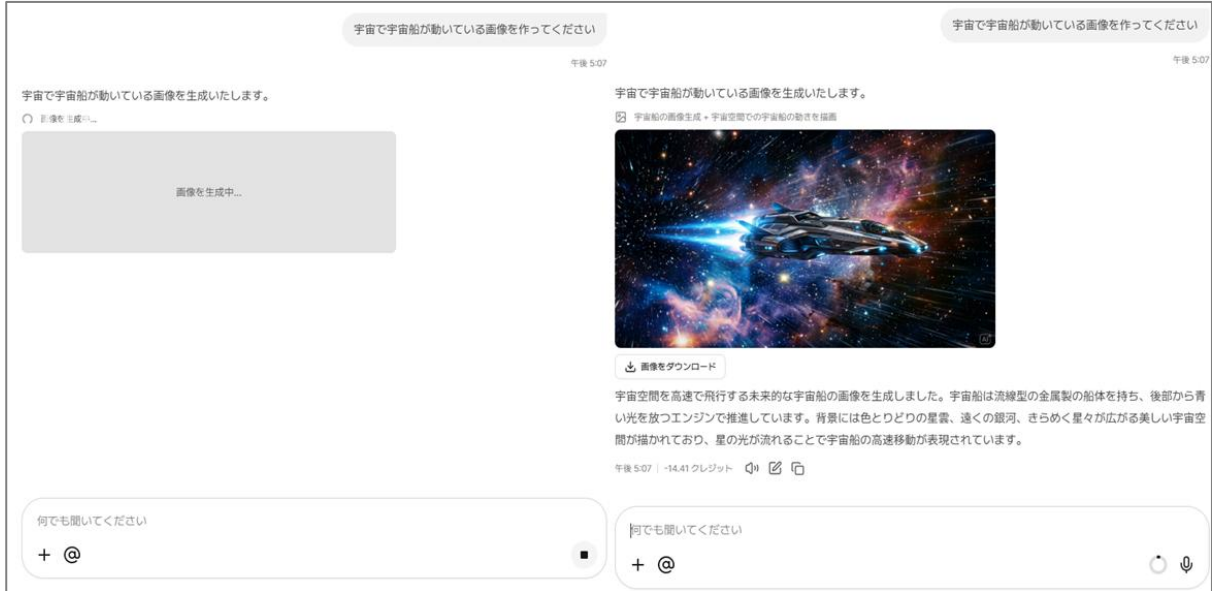
■ 画像生成を自動で行う

ユーザーのリクエストから画像生成の指示を自動で検知します。画像ツールを個別に有効にしなくても、AI が自動的に画像を生成できるようになりました。



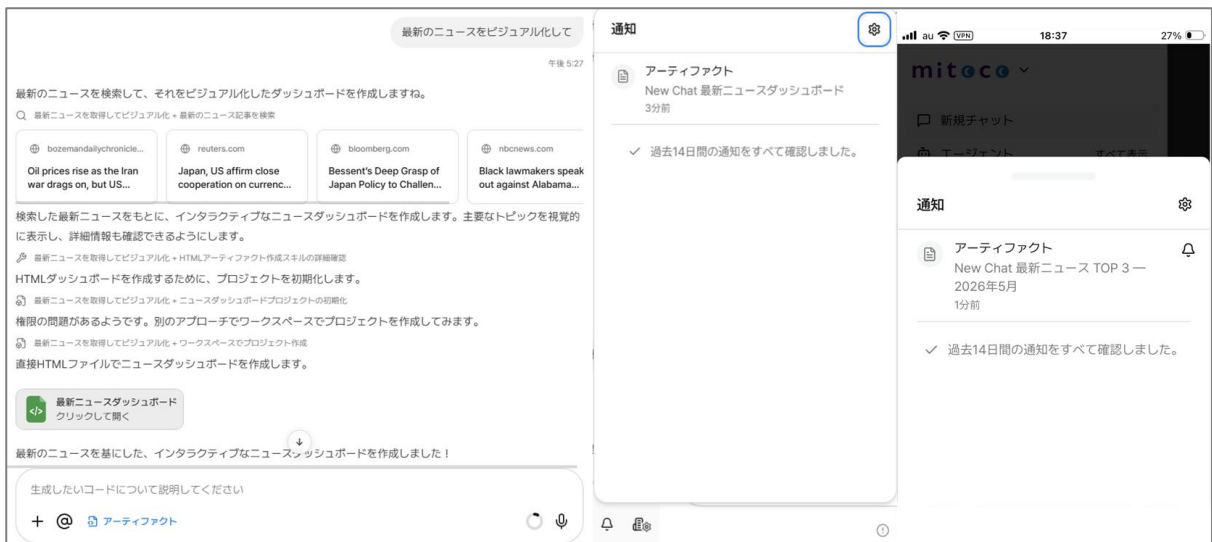
■ 画像生成の進行状況を表示

画像の生成や編集の処理中は、作業が進行中であることを画面上で案内します。画像が完成した後は、不要な余白を削除し、最適なサイズで画像が表示されるよう改善しました。



■ アーティファクト作成完了のプッシュ通知に対応

アーティファクトの作成が完了すると、通知センターに通知が保存されます。あわせて、モバイル端末へプッシュ通知が送信されます。



■ 退会アカウントの再登録に関する改善

無料クレジットの重複付与を防ぐため、退会したアカウントの再登録を制限しています。

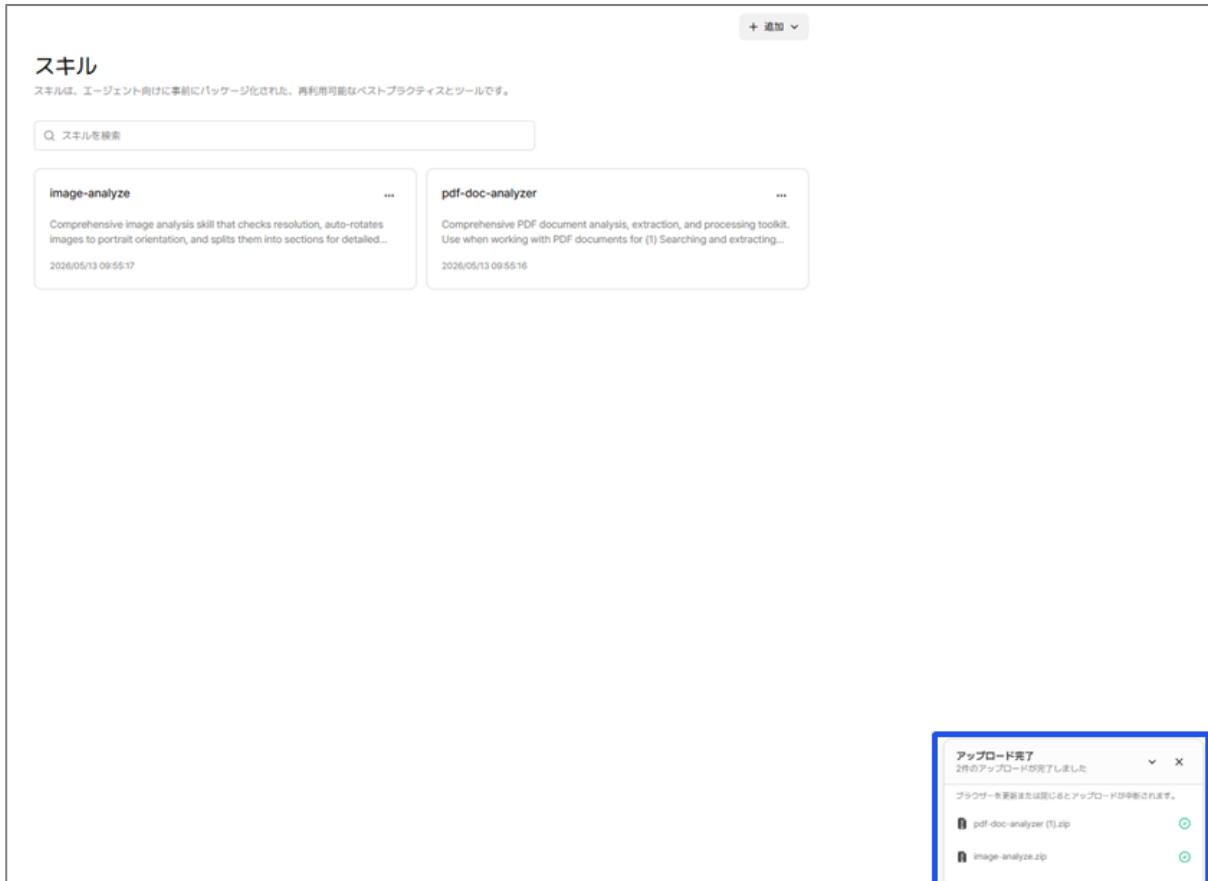
退会済みのアカウントで再登録を試みた場合、再登録できない旨を知らせるエラーメッセージが表示されるようになりました。

※アカウントを設定から削除すると退会済みとなります。



■ 複数のスキルを一括でアップロードする

複数のファイルを同時に選択するか、ファイルをドラッグ&ドロップしてアップロードできます。これにより、複数のスキルを一括で登録できるようになりました。



2 お問い合わせ先

ご不明点などがございましたら、以下よりお問い合わせください。

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

3 免責事項

- ・ 本リリースノートは 2026 年 5 月 19 日現在のものです。Salesforce および本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。
- ・ mitoco Buddy 利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。



製品サポート

製品情報

<https://www.mitoco.net/mitocoBuddy>

製品ユーザーガイド

<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

mitoco Buddy 2026.05.19 リリースノート

リリース日： 2026 年 5 月 19 日